

【子ども像】

- 知 自ら課題を解決しながら、共に学び合う子
- 徳 互いのよさや違いを認め合い、共に高め合える子
- 体 自他の生命を尊び、心も体も健やかな子
- 公 人々や自然から生き方を学び、自ら考え実践する子
- 開 まちを愛し、自然や文化を受け継ごうとする子

【学校教育目標】

- 共に創り
- 共に歩み
- 共に輝く

【学校像】

信頼と協力、安心と豊かさのある学校

【教師像】

個々の力を発揮するために学び続け、他と連携しながら組織を活性化する教師

◇中期学校経営方針

- 【R4～R6の3年目】
- ◇子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実
- ◇教育DXの推進

- 3つのプランの確実な取組
 - ・学力向上アクションプラン
 - ・豊かな心の育成推進プラン
 - ・健やかな体の育成
- チーム学年経営 (教科分担制)
 - ・学力向上 (授業改善)
 - ・児童の心の安定 (複数の教職員の関わり)
 - ・働き方改革
 - ・1年生架け橋プログラム
- GIGAスクール構想
 - ・1人1台端末の効果的活用
 - ・ICT機器を活用した授業改善
 - ・プログラミング教育
 - ・端末を用いた他者への発信
 - ・デジタル教科書 (外国語・算数) の活用
 - ・デジタルドリルの活用
 - ・端末持ち帰り (7月以降)

- 授業のユニバーサルデザイン
 - ・学習環境づくり
 - ・分かる授業の構築
 - ・見通しや振り返りを大切にした授業の展開
- 異学年交流
 - ・4・5・6年の実行委員会による運営
 - ・ペア学年 (集会活動)
 - ・ペアグループ

- 多様なニーズに応じた教育
 - ・特別支援教室 (つながルーム)
 - ・個別的教育支援計画・個別の指導計画の作成
 - ・合理的な配慮
- いじめの防止・早期解決
 - ・児童アンケートの実施と対応
 - ・子どもの社会的スキル横浜プログラムの活用
 - ・教育相談の実施
 - ・人権教育の推進
 - ・人権週間の取組の充実

「社会に開かれた教育課程」の実現
～よりよい学校教育を通じて
よりよい社会をつくる～

教育を通じてウェルビーイングを向上

自己肯定感・自己実現・つながり・利他性・社会貢献意識等
文科省 (第4期 教育振興基本計画)

横浜市立 綱島小学校 令和4～6年度 中期学校経営方針 (令和6年度修正)	
<p>学校教育目標</p> <p>【学校教育目標】共に創り共に歩み共に輝く</p> <p>○高学・高本を大切に、自ら課題を解決しながら、共に学び合う子を育てます。【知】</p> <p>○他者との豊かな関わり合いの中で、互いのよさや違いを認め合い、共に高め合える姿勢を育てます。【徳】</p> <p>○健康や安全の大切さに気づき、自分や他者の生命を尊ぶことのできる、心も体も健やかな子どもを育てます。【体】</p> <p>○地域の人や自然とのかけがえのない生き方を学び、自ら考え実践できる子どもを育てます。【公】</p> <p>○私たちの「まち」綱島を愛し、綱島の自然や文化の素晴らしさを受け継ごうとする態度を育てます。【開】</p>	<p>新中・新小</p> <p>【綱島小学校】</p> <p>感謝の気持ちをもち、自然を思いやり認め合う子 — 聴く力、伝える力 —</p> <p>【新中・新小ブロック】</p> <p>自分づくりに関する力</p>
<p>中・高学年</p> <p>○子ども一人ひとりが思いやりや思いをもち、主体的・対話的に学びが深まるような教育活動を推進します。</p> <p>・1年目は、子どもたち全員が考えをもち、互いに学び合うようになる姿を目指します。</p> <p>・2年目は、子どもの意欲を大切にしながら共に学び合い、子どもたち全員が学び合う力が高まるように育てます。</p> <p>・3年目は、共に学び合うことで、互いに高めあえることができるようになります。</p> <p>○綱島のまちの「人」の「場所」を生かして、「感謝」「思いやり」「認め合い」「聴く、伝える」といった身につけた力を明確にしながらいじめを防止し、心身の健康を育てます。</p> <p>・3年間を通して、一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活が送れるようにします。</p> <p>・「感謝」「思いやり」「認め合い」「聴く、伝える」という資質・能力を育成をめざした授業改善、学級経営、学年経営に取り組みます。</p> <p>・学校行事を充実することで、綱島小の「心」である「感謝」「思いやり」「認め合い」の力を育てていきます。</p> <p>・通級指導教室、一般学級、個別支援学級との連携、情報交換、研修等を通して、チーム力向上を図ります。</p>	<p>小中一貫教育推進プログラムにおける「学びを深める力」の育成</p> <p>「人との関わり」や「自他の思いや願い」を大切にできる子</p> <p>「自分づくりに関する力」</p>
<p>重点取組分野</p> <p>知 確かな学力</p> <p>1. どの教科でも、児童が自分の考えや思いをもち、伝え合い、認め合い、主体的・対話的に取り組むことができるような授業展開を推進する。</p> <p>2. 授業を通して身に付けたい資質・能力を児童が、多様な児童の実態に対応できる授業づくりを行う。</p>	<p>具体的取組</p> <p>1. 年間を通してペア学年の取組を充実させ、自然を大切に思いやりや思いの心構えを育てる。</p> <p>2. 年間目標に基づき、児童主体の学級活動を推進し、自己有用感を高めるとともに、互いのよさを認め合う機会を継続的に設ける。</p>
<p>徳 豊かな心</p> <p>1. 体育科学習や文化祭委員等の主体的な取り組みを通して、人との関わりを大切に楽しさを味わわせ、主体的な活動習慣につなげる。2. 学校保健委員会の運営や児童数以上の連携による保健についての理解から知識を得る機会を通して自分の心や体の健康が成長に関心をもてるようにする。3. 授業展開と連携しながら児童指導等を通して、友の大切さを伝える。</p>	<p>1. 体育科学習や文化祭委員等の主体的な取り組みを通して、人との関わりを大切に楽しさを味わわせ、主体的な活動習慣につなげる。2. 学校保健委員会の運営や児童数以上の連携による保健についての理解から知識を得る機会を通して自分の心や体の健康が成長に関心をもてるようにする。3. 授業展開と連携しながら児童指導等を通して、友の大切さを伝える。</p>
<p>体 健やかな体</p> <p>1. 綱島の「人」の「場所」を生かして、「感謝」「思いやり」「認め合い」「聴く、伝える」といった身につけた力を明確にしながらいじめを防止し、心身の健康を育てます。</p> <p>・3年間を通して、一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活が送れるようにします。</p> <p>・「感謝」「思いやり」「認め合い」「聴く、伝える」という資質・能力を育成をめざした授業改善、学級経営、学年経営に取り組みます。</p> <p>・学校行事を充実することで、綱島小の「心」である「感謝」「思いやり」「認め合い」の力を育てていきます。</p> <p>・通級指導教室、一般学級、個別支援学級との連携、情報交換、研修等を通して、チーム力向上を図ります。</p>	<p>1. 綱島の「人」の「場所」を生かして、「感謝」「思いやり」「認め合い」「聴く、伝える」といった身につけた力を明確にしながらいじめを防止し、心身の健康を育てます。</p> <p>・3年間を通して、一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活が送れるようにします。</p> <p>・「感謝」「思いやり」「認め合い」「聴く、伝える」という資質・能力を育成をめざした授業改善、学級経営、学年経営に取り組みます。</p> <p>・学校行事を充実することで、綱島小の「心」である「感謝」「思いやり」「認め合い」の力を育てていきます。</p> <p>・通級指導教室、一般学級、個別支援学級との連携、情報交換、研修等を通して、チーム力向上を図ります。</p>
<p>公 自分づくり・地域連携</p> <p>1. 1人ひとりが思いやりや思いをもち、主体的・対話的に学びが深まるような教育活動を推進します。</p> <p>・1年目は、子どもたち全員が考えをもち、互いに学び合うようになる姿を目指します。</p> <p>・2年目は、子どもの意欲を大切にしながら共に学び合い、子どもたち全員が学び合う力が高まるように育てます。</p> <p>・3年目は、共に学び合うことで、互いに高めあえることができるようになります。</p> <p>○綱島のまちの「人」の「場所」を生かして、「感謝」「思いやり」「認め合い」「聴く、伝える」といった身につけた力を明確にしながらいじめを防止し、心身の健康を育てます。</p> <p>・3年間を通して、一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活が送れるようにします。</p> <p>・「感謝」「思いやり」「認め合い」「聴く、伝える」という資質・能力を育成をめざした授業改善、学級経営、学年経営に取り組みます。</p> <p>・学校行事を充実することで、綱島小の「心」である「感謝」「思いやり」「認め合い」の力を育てていきます。</p> <p>・通級指導教室、一般学級、個別支援学級との連携、情報交換、研修等を通して、チーム力向上を図ります。</p>	<p>1. 1人ひとりが思いやりや思いをもち、主体的・対話的に学びが深まるような教育活動を推進します。</p> <p>・1年目は、子どもたち全員が考えをもち、互いに学び合うようになる姿を目指します。</p> <p>・2年目は、子どもの意欲を大切にしながら共に学び合い、子どもたち全員が学び合う力が高まるように育てます。</p> <p>・3年目は、共に学び合うことで、互いに高めあえることができるようになります。</p> <p>○綱島のまちの「人」の「場所」を生かして、「感謝」「思いやり」「認め合い」「聴く、伝える」といった身につけた力を明確にしながらいじめを防止し、心身の健康を育てます。</p> <p>・3年間を通して、一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活が送れるようにします。</p> <p>・「感謝」「思いやり」「認め合い」「聴く、伝える」という資質・能力を育成をめざした授業改善、学級経営、学年経営に取り組みます。</p> <p>・学校行事を充実することで、綱島小の「心」である「感謝」「思いやり」「認め合い」の力を育てていきます。</p> <p>・通級指導教室、一般学級、個別支援学級との連携、情報交換、研修等を通して、チーム力向上を図ります。</p>
<p>開 いじめの防止</p> <p>1. いじめの未然防止に努め、2. 年2回のVPアセスメント、いじめアンケートや教育相談を行い、3. 相談に結果を教職員で共有することにより、いじめの早期発見に努め、児童支援責任者を中心として全職員での情報共有やいじめの組織的対応を図る。</p>	<p>1. いじめの未然防止に努め、2. 年2回のVPアセスメント、いじめアンケートや教育相談を行い、3. 相談に結果を教職員で共有することにより、いじめの早期発見に努め、児童支援責任者を中心として全職員での情報共有やいじめの組織的対応を図る。</p>
<p>人・材・育・徳・体・心・育・育・育 (総合)</p> <p>1. 教科分担制、少人数指導など、授業形態を工夫し、職員が連携し合うことにより、児童理解の共有や教材研究の質の向上など、チームとして取り組む体制づくりを行う。2. 5年次以下の職員を中心にメンターチームを組織し、研究発表や授業を通して、他者の力を高める。3. ICTを活用した、授業の効率化や情報の共有を図る。</p>	<p>1. 教科分担制、少人数指導など、授業形態を工夫し、職員が連携し合うことにより、児童理解の共有や教材研究の質の向上など、チームとして取り組む体制づくりを行う。2. 5年次以下の職員を中心にメンターチームを組織し、研究発表や授業を通して、他者の力を高める。3. ICTを活用した、授業の効率化や情報の共有を図る。</p>
<p>特別支援教育</p> <p>1. 個別的教育支援計画・指導計画を策定して、児童一人ひとりに合わせた支援や授業の調整を図ることで、児童が安心して取り組めるようユニバーサルデザインを授業や環境づくりに活用する。2. 通級指導教室との連携を密にし、連携を深めるとともに、積極的にセンター機能を活用して、4. 特別支援教室をつながるチームによる少人数指導を充実させる。</p>	<p>1. 担任、学年の教員や専科教員など多くの職員で児童と関わり、情報共有して児童理解に努める。2. 綱島スタンダードを全職員が共通理解し、同じ方向性で指導を行い、定期的にフィードバックを行って、ルールの徹底を図り、児童が安心、安全に生活できる環境を整える。</p>
<p>児童・生徒指導</p> <p>1. 担任、学年の教員や専科教員など多くの職員で児童と関わり、情報共有して児童理解に努める。2. 綱島スタンダードを全職員が共通理解し、同じ方向性で指導を行い、定期的にフィードバックを行って、ルールの徹底を図り、児童が安心、安全に生活できる環境を整える。</p>	<p>1. 担任、学年の教員や専科教員など多くの職員で児童と関わり、情報共有して児童理解に努める。2. 綱島スタンダードを全職員が共通理解し、同じ方向性で指導を行い、定期的にフィードバックを行って、ルールの徹底を図り、児童が安心、安全に生活できる環境を整える。</p>
<p>教育課程</p> <p>1. 学年研究を促進して、児童が多角的に習得しながら「実用的な学び」を構築する授業改善に取り組む。2. 教科・単元・単元・マナジメントを推進する。3. 情報活用能力の育成、情報リテラシーの醸成、情報の信頼性の検討、複数の情報から課題解決する等の能力を、あらゆる学習活動の場面で積極的に図る。</p>	<p>1. 学年研究を促進して、児童が多角的に習得しながら「実用的な学び」を構築する授業改善に取り組む。2. 教科・単元・単元・マナジメントを推進する。3. 情報活用能力の育成、情報リテラシーの醸成、情報の信頼性の検討、複数の情報から課題解決する等の能力を、あらゆる学習活動の場面で積極的に図る。</p>
<p>連絡指導</p> <p>1. 一人ひとりに応じた支援ができるよう授業を充実し、個別指導計画の適正な活用や合理的配慮の充実を図る。2. 通級指導教室との連携を密にし、連携を深めるとともに、積極的にセンター機能を活用して、4. 特別支援教室をつながるチームによる少人数指導を充実させる。</p>	<p>1. 一人ひとりに応じた支援ができるよう授業を充実し、個別指導計画の適正な活用や合理的配慮の充実を図る。2. 通級指導教室との連携を密にし、連携を深めるとともに、積極的にセンター機能を活用して、4. 特別支援教室をつながるチームによる少人数指導を充実させる。</p>

【9年間育てる子ども像 (ブロック)】

「人との関わり」や「自他の思いや願い」を大切にできる

横浜教育ビジョン 2030
「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」
知・徳・体・公・開
「一人ひとりを大切に」
「みんなの計画・みんなで実現」
「EBPM(エビデンスに基づく施策形成)の推進」

- ◇働き方改革
- ◇端末アプリ・オンライン活用で学校・保護者・地域の連携強化
- ◇「持続可能な学校」の実現

- 教員の働き方改革
 - ・校務のDXの推進
 - ・フレックスタイム等、多様な働き方の活用
 - ・定時退勤日 (月1回) の設定
 - ・超勤1か月45時間以下
- アプリ (すぐる) の活用
 - ・欠席等の連絡・確認
 - ・緊急連絡の配信
 - ・学校・学年だより等の添付 (ペーパーレス)
 - ・学校評価、学校行事等のアンケート実施
- 学校説明会、宿泊学習説明会 入学説明会等のリモート・オンライン開催 (YouTube)
- 個人面談のリモート活用
- ホームページの随時更新
- 持続可能なPTA運営
- 土曜参観と地域防災拠点訓練の同時開催

通級指導教室

- 通級指導教室と本校の迅速な連携と支援強化・情報共有
- 「まなびの支援教室」「きこえとことばの教室」の教員の専門性を生かした研修
- 通級と本校の職員の特別支援教育の専門性を高める交流

つながろう
なかま
やさしさ
まなびあい



まほうの
ことば